

電子入札コアシステムでの JIS2004 の使用制限について (Windows 8.1 以降)

平成 28 年 7 月 22 日 更新

平成 25 年 12 月 16 日

JACIC

Windows8.1 以降の OS を搭載した PC では、JIS X 0213:2004 (以下「JIS2004」) 対応フォントのみが搭載され、Windows7 まで利用可能であった JIS90 フォントパッケージは非対応となっています。

このままコアシステムクライアント環境として使用した場合、文字化けやサーバーエラーが発生する可能性があります。以下に示す設定変更 (日本語入力用 IME にて、JIS90 (JIS X 0208) で構成された文字のみ変換候補に表示する) を行うことをおすすめします。

1. 日本語入力用 IME における設定変更について (発注者、応札者)

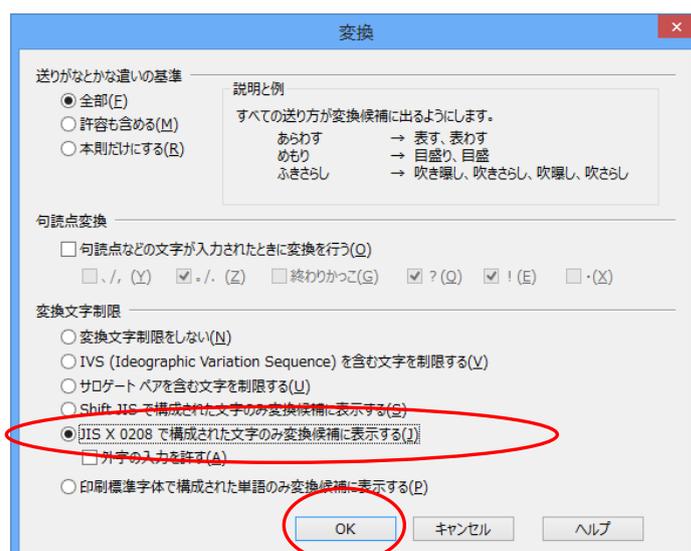
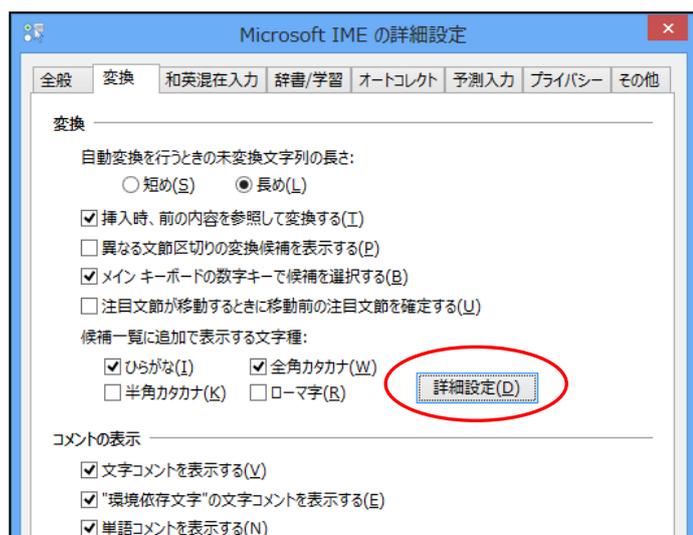
日本語入力用 IME にて、JIS90 (JIS X 0208) で構成された文字のみ変換候補に表示する場合には、当面、以下の手順に従って設定して頂きますようお願いいたします。

(手順 1) Microsoft IME の「プロパティ」を開く。

(手順 2) [変換] タブをクリックし、[詳細設定(D)] ボタンを押す。

(手順 3) 「変換文字制限」グループのラジオボタンの中で、「JIS X 0208 で構成された文字のみ変換候補に表示する(J)」を選択する。

(手順 4) [OK] ボタンを押す。



(参考 1) 電子入札コアシステムを構成する各部の JIS2004 の対応状況

(1) 電子入札コアシステムに対応しているミドルウェアの状況 (対応済)

電子入札コアシステム V5.1 以降 (V5.3 OSS は除く) で動作確認を行ったミドルウェア製品(*1)は、JIS2004 に対応済みの製品となっています。

(*1) 動作確認を行ったミドルウェア製品

電子入札コアシステムサービスセンターホームページの「コアシステム関連情報」にて公開している「コアシステムバージョンと動作確認対象ミドルウェアの対応」に記載しています。

(2) 電子入札コアシステムのアプリケーションと画面の状況 (未対応)

アプリケーションを構成している Java プログラム等の各ファイルにおいて、内部で処理している Shift JIS コード対応機能を Unicode(バージョン 3.2 以上)対応機能に変更するための大規模な修正が必要です。

(3) DB データの状況 (未対応)

Unicode を格納する必要があるため、既存データを Unicode に変換する必要があります。ただし、署名付きデータや暗号化データは移行不可能なため、これらは電子入札コアシステムのアプリケーションを JIS2004 対応に変更した時点で参照できなくなります。

(4) 認証機能インターフェースの状況 (未対応)

Unicode に対応するための影響点の調査および確認を実施する必要があります。

(参考2) JIS2004 でのみ対応している文字を使用した場合の影響について

応札者が JIS2004 でのみ対応している文字を使用した場合、以下のような影響が想定されます。

(1) 電子入札コアシステムの画面にそれらの文字が表示された場合、以下のような状況が発生することがあります。

- ① JIS2004 でのみ対応している文字を応札者が入力しシステムに送信した場合、発注者側で文字化けして表示される可能性があります。また、応札者自身が再表示した場合も文字化けして表示される可能性があります。

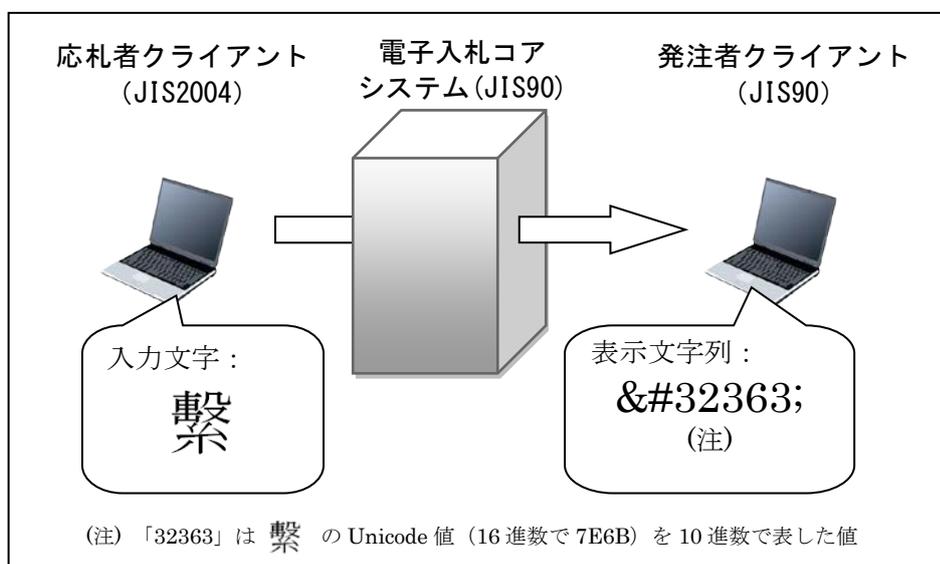


図 文字化けして表示される例

- ② JIS2004 でのみ対応している文字を含む文字列の場合、一覧画面での表示順序が、本来の順番と異なって表示される可能性があります。
- ③ 発注者側と応札者側で、同じ文字が異なる字形で表示される可能性があります。
- ④ 添付資料等のファイル名に使用した場合、文字化けし、ファイル名の形式チェックでエラーとなる可能性があります。
- ⑤ 添付資料等のフォルダ名に使用した場合、文字化けし、ファイルの存在チェックでエラーとなる可能性があります。
- ⑥ 入力桁数チェックは、文字化けした後の桁数でチェックされます。

- (2) JIS2004 では一部 4 バイト文字 (サロゲートペア) が採用されているため、該当する文字を応札者から送信した場合に、(Shift JIS であれば) 入力可能文字数以内となるはずが入力不可となったり、サーバエラーが発生したりする可能性があります。

※ 執行担当者署名・立会者署名等で担当者に 4 バイト文字 (蒔 (なぎ), 土 (つち), 叱 (しつ) など) を入力したところ、JIS2004 に対応している環境では問題は発生しませんでした。一方、JIS2004 に対応していないミドルウェア環境では当該案件が正しく表示できなくなる事象が発生しました (工事業務のみ事象が発生。物品・役務は方式が異なるため、エラーにならない)。

- (3) なお現時点では、JIS2004 特有の文字 (4 バイト文字 (サロゲートペア) など) を使用することによるシステムダウンが発生する事象は確認していません。

(参考 3) 今後の対応について

今後の対応については、国・自治体システムでの対応状況及びユーザー会議等でのご意見等を踏まえ検討してまいります。

以上